県内において作付けされている二条大麦、市販されているライ麦、えん麦のホールクロップサイレージとしての適性を知るため、各3株、22品種を比較検討した。

1．試験方法

試験研究会の花岡営業部・砂宜部、人工栽培において、1983年11月22日、a当たり1gを40cmで播種した。試験区は離め法4区制とした。区8m²とした。

処理量はa当たりきりょく肥200kg、石灰5kg、窒素1.5kg、摂酸0.8kg、カリ1.5kg施用した。

2．試験結果および考察

二条大麦は採用実の作物であり、稲穂粗苗移植に適応した早生品種が混在しており、極早生〜早生種であったが、イシケラシサとアマギニ二条では出穂に5日ないし7日遅いがあった。いずれの品種も穂重は60kg/ha以上で、穂重割合も5%〜6%であり、さらに、乾物率は31〜45%高く、ダイアクトカットによるホールクロップサイレージ原草としての適性を秘めていた。4品種の中ではイシケラシサ、カワノキは倒伏も少なく、かつ、多収であった。

ライ麦は出穂の幅がやや広く、4月19日から5月2日まであり、草丈は高く、5月末の乾燥時において、稲長は124〜164cmであった。最も課題とされ、倒伏は少なかった。乾物収量の高い品種が多く、多収性では他の2草種に勝った。しかし、穂重割合は低く、また、穂重収量も少なかった。乾物率は平均で43.5%であり、無子乾でサイレージ調製が可能であり、ライ麦のもつ耐寒性を考慮すると、暖地の中〜高寒地では有効な草種と考えられる。品種としては、マッハ、ハルワセの様な早生草種の中、多収性のある系統を選定すべきであろう。

えん麦は乾物収量、乾物収量、および穂重収量の高い品種が多く、二条大麦に勝るとも劣らなかった。生育が進むと穂重割合も高く、50%を超え品種もみられた。

m²当たり茎数は74〜350本と幅が広く、品種による差が大きかった。また、株長もスワローの84cmから、前進の128cmまであった。一方、出穂については、早生のハヤテでもイシケラシサより12日、マッハと比べても10日遅く、5月28日の収穫において、ハヤテが乳熟期、極早生の大豊では出穂期であった。また、乾物率は乳〜糊熟期で、ライ麦の乳熟期より約10%も低く、無子乾でサイレージとするにはやや難点があった。

供試品種中では、ハヤテが懸膜生、多収、エレクトが早生、単穂・粗穂で自由に特徴があった。

第1表 特性一覧

<table>
<thead>
<tr>
<th>品種</th>
<th>項目</th>
<th>出穂</th>
<th>稲長</th>
<th>年平均</th>
<th>茎数本/㎡</th>
<th>収量</th>
<th>そ の 他</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>二条大麦</td>
<td>イシケラシサ</td>
<td>4.17</td>
<td>28</td>
<td>79</td>
<td>98</td>
<td>196</td>
<td>141</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>カワノキ</td>
<td>4.20</td>
<td>32</td>
<td>100</td>
<td>53</td>
<td>235</td>
<td>1579</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>アマギニ二条</td>
<td>4.22</td>
<td>22</td>
<td>69</td>
<td>97</td>
<td>240</td>
<td>1583</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>平 均</td>
<td>4.19</td>
<td>24</td>
<td>71</td>
<td>134</td>
<td>217</td>
<td>1437</td>
</tr>
<tr>
<td>ライ麦</td>
<td>マッハ</td>
<td>4.19</td>
<td>38</td>
<td>96</td>
<td>134</td>
<td>233</td>
<td>901</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>ハルワセ</td>
<td>4.20</td>
<td>32</td>
<td>100</td>
<td>153</td>
<td>268</td>
<td>1639</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>ポンネルク</td>
<td>4.26</td>
<td>19</td>
<td>76</td>
<td>176</td>
<td>199</td>
<td>1632</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>ハルミドリ</td>
<td>4.27</td>
<td>24</td>
<td>85</td>
<td>144</td>
<td>275</td>
<td>1601</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>ベトクサ</td>
<td>5.2</td>
<td>22</td>
<td>80</td>
<td>172</td>
<td>228</td>
<td>1370</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>平 均</td>
<td>4.25</td>
<td>27</td>
<td>89</td>
<td>157</td>
<td>245</td>
<td>1542</td>
</tr>
<tr>
<td>えん麦</td>
<td>ハヤテ</td>
<td>4.29</td>
<td>20</td>
<td>60</td>
<td>106</td>
<td>229</td>
<td>941</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>エンダックス</td>
<td>4.30</td>
<td>18</td>
<td>62</td>
<td>126</td>
<td>186</td>
<td>739</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>スピリタス</td>
<td>4.30</td>
<td>17</td>
<td>61</td>
<td>119</td>
<td>161</td>
<td>773</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>エレント</td>
<td>4.30</td>
<td>18</td>
<td>63</td>
<td>100</td>
<td>174</td>
<td>962</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>ためりー</td>
<td>5.5</td>
<td>19</td>
<td>62</td>
<td>118</td>
<td>177</td>
<td>831</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>ハイオーブ</td>
<td>5.8</td>
<td>18</td>
<td>56</td>
<td>120</td>
<td>349</td>
<td>1879</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>クエマカ</td>
<td>5.10</td>
<td>12</td>
<td>40</td>
<td>119</td>
<td>262</td>
<td>1324</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>スワロー</td>
<td>5.14</td>
<td>15</td>
<td>51</td>
<td>104</td>
<td>212</td>
<td>1124</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>ハルアシバ</td>
<td>5.15</td>
<td>21</td>
<td>59</td>
<td>146</td>
<td>230</td>
<td>635</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>オールマイティ</td>
<td>5.17</td>
<td>15</td>
<td>50</td>
<td>131</td>
<td>148</td>
<td>680</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>南進</td>
<td>5.17</td>
<td>16</td>
<td>53</td>
<td>154</td>
<td>189</td>
<td>724</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>大 塱</td>
<td>5.28</td>
<td>17</td>
<td>52</td>
<td>137</td>
<td>245</td>
<td>1052</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>平 均</td>
<td>5.10</td>
<td>17</td>
<td>56</td>
<td>123</td>
<td>214</td>
<td>974</td>
</tr>
</tbody>
</table>